



平成 30 年 8 月 8 日

各 位

会 社 名 ア セ ン テ ッ ク 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 佐 藤 直 浩
(コード番号：3565 東証マザーズ)
問 合 せ 先 管 理 本 部 長 佐 藤 正 信
(TEL：03-5296-9331)

平成 31 年 1 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 30 年 3 月 13 日に公表いたしました平成 31 年 1 月期（平成 30 年 2 月 1 日～平成 31 年 1 月 31 日）の第 2 四半期累計期間における業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 1 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	2,550	181	182	126	38.34
今 回 修 正 予 想 (B)	3,150	245	250	172	52.03
増 減 額 (B-A)	600	64	68	46	—
増 減 率 (%)	23.5	35.4	37.4	36.5	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 30 年 1 月期第 2 四半期 累計期間)	2,194	206	204	141	47.09

2. 修正の理由

当第 2 四半期累計期間におきまして、当社の売上高は、テレワーク導入案件の増加や企業のサイバーセキュリティ対策需要の増加に伴い仮想デスクトップビジネスの事業領域で予算を上回る見込みとなりました。また仮想インフラ及びストレージの事業領域においても、先進のハイパーコンバージドインフラ製品の案件の受注や複数の国内大手クラウド事業者のインフラを継続的に受注したことにより、予算を上回る見込みとなりました。さらにシステムエンジニア部門の体制強化により、プロフェッショナルサービスの売上高も予算を上回る見込みとなりました。

利益面では、事業拡大に伴い、人件費や研修費などで当初見込みより上回ることとなったものの、上述の売上増による利益増により、前回の業績予想を上回る見込みとなりました。

以上により、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益のいずれも当初発表予想を上回る数値に修正するものであります。

なお、通期の業績予想につきましては、前回予想数値を据え置きますが、今後の業績推移に応じて修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上